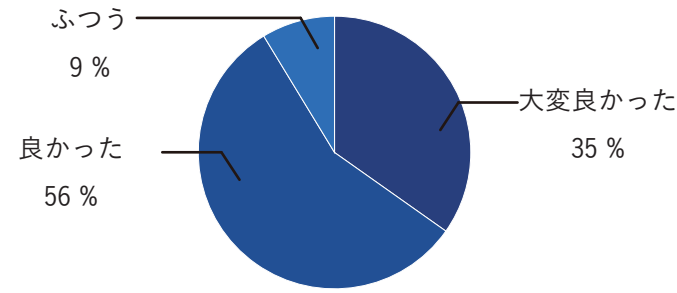


アンケート

満足度



「大変良かった」「良かった」と答えてくださった方が多くを占め、「また行きたい」との声もありました。一方、「ふつう」と答えた方も1割程度いらっしゃいました。今後もより多くの方にワークショップをもっと楽しんでもらえるように努めます。

総合計画策定プロジェクトへのご意見・ご質問

町民と行政が同じ方向を向いて智頭町の将来を考えていくという方針というのが良い/移住者や役場関係だけでなくもっと町民の参加があったほうが良い/住民参加型のまちづくりに期待が高まる/自分(たち)のこととして取り組む必要がある/町の取り組みについて情報発信が必要

ワークショップで印象に残ったこと

たくさんある事業を活かしきれていない/ワークショップの流れがわかりやすく良かった/参加者が大切だと感じていたことがざっくばらんに話しあえる町民主導の場づくりであった/町の施策の多さ/今後の展望について具体的に意識するきっかけになった/他の人の意見が聞けた/思いが共有できた

その他

参加者が若いのが素晴らしい/智頭の町をブランド化したい/参加者が役場関係の方にかたよっていると感じた/もっと幅広い年代に参加してほしい/出たアイデアを実現してみたい

次回のお知らせ

第3回総合計画策定ワークショップを開催します！

2016年12月8日(木)

時間：19:00～21:00

場所：智頭町総合センター 大会議室



総合計画づくりを町民のみなさんと進めていくために実施する総合計画策定ワークショップの第3回目となります。「未来の暮らしを良くするアイデアを考えよう」をテーマに、みなさんと一緒に智頭町の将来を考えていきます。これまでワークショップに参加していない方でも大歓迎です。

参加の申し込みやご質問など、智頭町企画課までお問合せください。

studio-L

studio-L(スタジオエル)は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、いえしま地域まちづくり、海士町総合復興計画など、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。<http://www.studio-l.org>

〈問合せ先〉智頭町企画課

【住所】〒689-1402 智頭町智頭2072-1 [電話] 0858-75-4112

わたしの智頭くらしを考える 山・ひと・暮らしラボ

智頭町総合計画策定プロジェクト
第1回智頭暮らしワークショップ

2016.9.15 THU

19:00 - 21:30

智頭町総合センター 大会議室

参加者45名

第1回「まちの取り組みを知ろう！」 プログラム

- ・はじめに：studio-Lの紹介
- ・これまでのふりかえりと総合計画のコンセプトについて
- ・ブレイクタイム「喪失体験」
- ・ワーク1 自分のライフプランを考えよう
- ・ワーク2 智頭町の事業を自分ごとにしてみよう
- ・共有

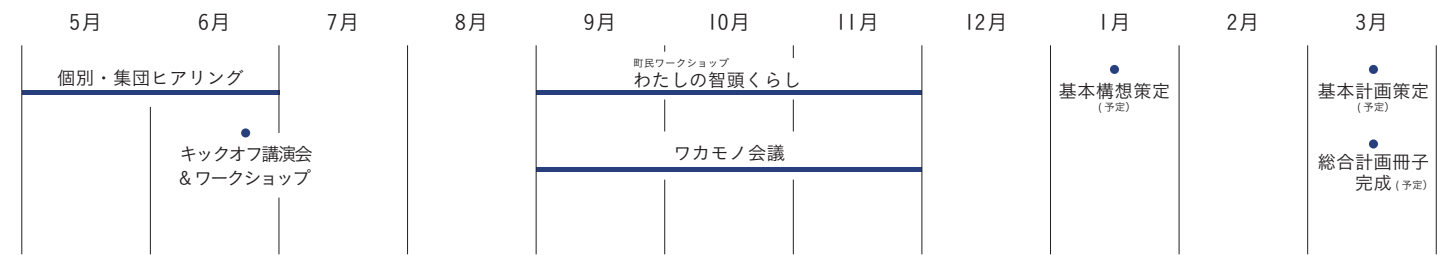
平成29年度から施行される今後10年のまちの指針となる第7次智頭町総合計画を住民のみなさんと一緒に策定していくプロジェクトがスタートしました。全3回のワークショップのうち第1回目は「まちの取り組みを知ろう！」をテーマに、智頭町が実施している取り組みを町民のライフステージに合わせて整理した表をみながら、参加者の皆さんと役場の職員を交えてざっくばらんに話すにぎやかな会となりました。

智頭町第7次総合計画策定について

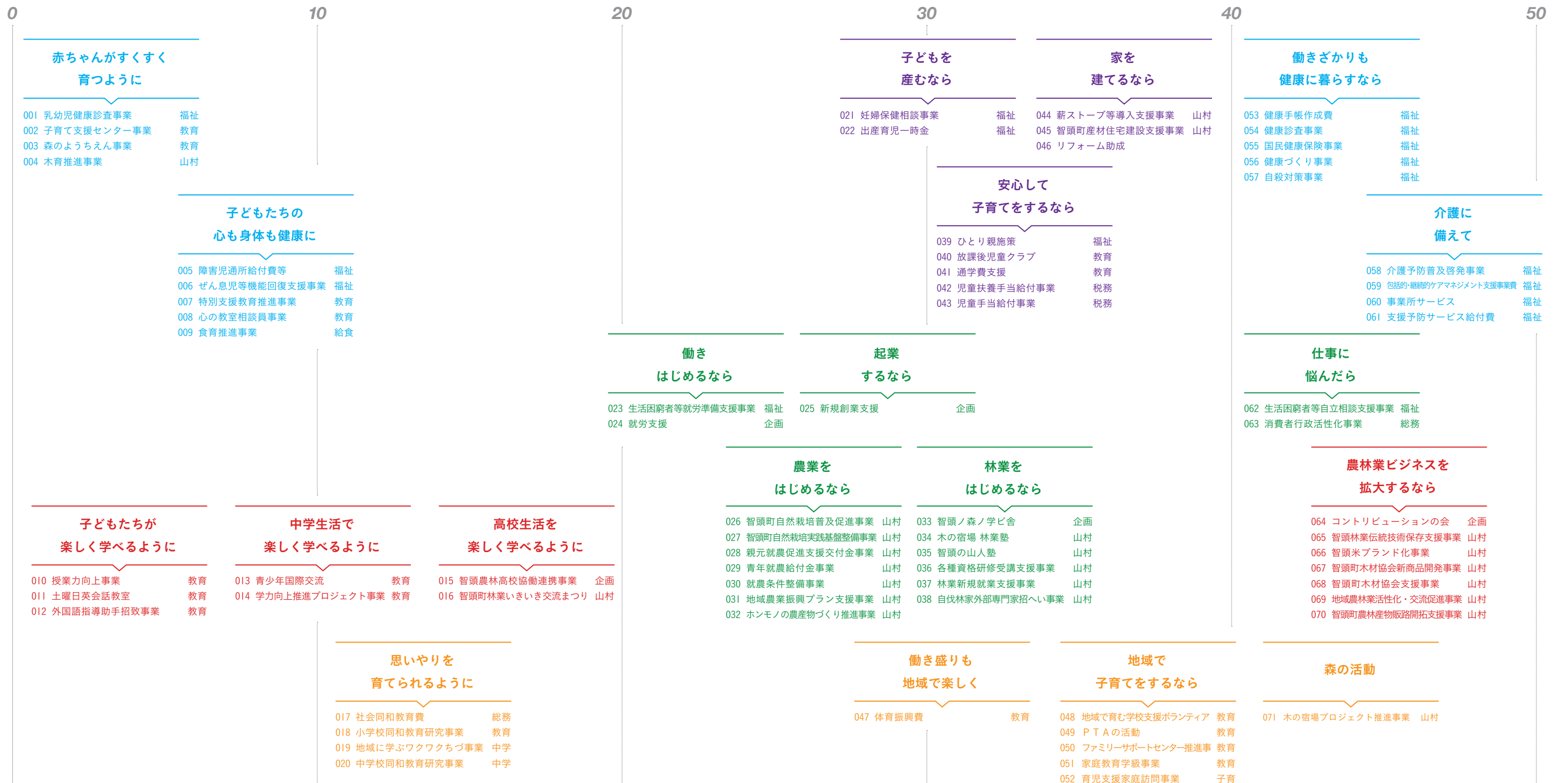


総合計画とは、地方自治体がさまざまな活動を行う上で基盤となる計画であり、長期的なまちづくりの方針や将来像、その実現の手段などを総合的、体系的に示すものです。智頭町では、本年度、平成29年からの10年間のまちの指針となる第7次総合計画を策定します。智頭町で暮らすたくさんの方に参加していただき、みんなで智頭町のこれからの話し合い、計画づくりを進めていくことを目指しています。山の恵みと、優しくてあたたかな人びと。智頭町だからこそできる豊かな暮らし。智頭町のこれからの10年を一緒に描いていきます。

策定までのスケジュール



町民のライフステージにあわせた事業 (0歳~50歳)



総合計画のコンセプト

「智頭ぐらしを考える」ワークショップの目的

総合計画策定プロジェクトがスタートし、4月から智頭町の地域や各団体のみなさんなど、約200人の方々にヒアリングをしてきました。そして、6月に開催したキックオフ講演会&ワークショップでも、智頭町のこれからについてたくさんの意見を伺うことができました。

「智頭ぐらしを考える」ワークショップでは、ヒアリングやキックオフ講演会&ワークショップで集めた町民のニーズ

について、これからの10年の計画の中でどのように対応していくべきかをテーマに話し合いを進めていきます。それには、現在、取り組まれている町の施策や各種団体の取り組みが、町民ニーズにどう対応しているかを整理する必要があります。そして、過不足があるニーズについて、どのような課題解決のアイデアがあるかを話し合い、今後の取り組みの方向性を導きだしていきます。

町の施策と町民一人ひとりの暮らしの関連性を理解し、未来の智頭暮らしを考える



町民のライフステージにあわせた事業

現在、取り組まれている町の施策や各種団体の取り組みを、まずは知ることが大切です。住民一人ひとりに、町の取り組みをより身近に捉えてもらうために、町の事業を町民のライフステージあわせて整理した表を用いて、自身の人生と智頭町での暮らしを考えてみることにしました。

町民のライフステージにあわせた事業 (50歳~100歳)

50	60	70	80	90	100
<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 072 家族介護継続支援事業 福祉 073 認知症高齢者見守り事業 福祉 074 家族介護支援事業 福祉 	<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 072 家族介護継続支援事業 福祉 073 認知症高齢者見守り事業 福祉 074 家族介護支援事業 福祉 	<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 072 家族介護継続支援事業 福祉 073 認知症高齢者見守り事業 福祉 074 家族介護支援事業 福祉 	<p>病気がなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 101 訪問指導事業 福祉 102 後期高齢者等健康診査事業 福祉 103 後期高齢者医療広域連合納付金 福祉 104 成年後見制度利用支援事業 福祉 	<p>親族が亡くなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 120 葬祭費 福祉 121 第1号被保険者保険料還付金 福祉 	<p>100歳になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 122 老人福祉費 福祉
<p>森林を続けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 077 間伐促進支援事業 山村 078 低コスト林業機械リース支援事業 山村 079 森林整備地域活動支援交付金事業 山村 080 美しい森林づくり基盤整備事業 山村 081 森づくり作業道整備事業 山村 082 智頭材出荷促進事業 山村 083 森林施業印地コーディネーター配置支援事業 山村 	<p>農業を続けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 084 鳥獣等被害防止事業 山村 085 中山間地域等直接支払交付金事業 山村 086 多面的機能支払交付金事業 山村 087 がんばる農家プラン事業 山村 088 がんばる地域プラン事業 山村 089 経営所得安定対策等推進事業 山村 090 農業振興費 山村 091 農地中間管理事業 山村 092 ふるさと整備土木事業 地域 093 農業委員会費 農業 	<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 105 老人保護措置費 福祉 106 社会福祉法人軽減助成事業 福祉 107 老人福祉センター管理事業 福祉 108 介護保険事業費納付金 福祉 109 介護サービス等諸費 福祉 110 高額介護サービス費 福祉 111 特定入所者介護サービス費 福祉 112 総合相談事業費 福祉 113 外国人高齢者福祉手当給付事業 福祉 114 後期高齢者支援金等 福祉 	<p>介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 105 老人保護措置費 福祉 106 社会福祉法人軽減助成事業 福祉 107 老人福祉センター管理事業 福祉 108 介護保険事業費納付金 福祉 109 介護サービス等諸費 福祉 110 高額介護サービス費 福祉 111 特定入所者介護サービス費 福祉 112 総合相談事業費 福祉 113 外国人高齢者福祉手当給付事業 福祉 114 後期高齢者支援金等 福祉 	<p>親族が亡くなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 120 葬祭費 福祉 121 第1号被保険者保険料還付金 福祉 	<p>100歳になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 122 老人福祉費 福祉
<p>お店を続けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> 094 店舗改修補助 企画 	<p>畜産をするなら</p> <ul style="list-style-type: none"> 095 畜産振興補助 山村 096 畜産業費 山村 	<p>リタイアしたら地域で楽しく</p> <ul style="list-style-type: none"> 097 褒章事業 総務 098 高齢者教育事業(牛臥大学) 教育 099 智頭野菜販売農家育成事業 山村 100 智頭百業学校事業 山村 	<p>地域で助け合いながら楽しく暮らす</p> <ul style="list-style-type: none"> 115 在宅福祉対策事業費 福祉 116 鳥取型地域生活支援システムモデル事業 福祉 117 健康相談事業 福祉 118 地域自立生活支援事業 福祉 119 とっとり共生の里づくり推進事業 山村 	<p>親族が亡くなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 120 葬祭費 福祉 121 第1号被保険者保険料還付金 福祉 	<p>100歳になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 122 老人福祉費 福祉
<p>大人になっても学びたい</p> <ul style="list-style-type: none"> 075 社会教育事業 教育 076 生涯学習講座費 教育 	<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 072 家族介護継続支援事業 福祉 073 認知症高齢者見守り事業 福祉 074 家族介護支援事業 福祉 	<p>親の介護が必要になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 072 家族介護継続支援事業 福祉 073 認知症高齢者見守り事業 福祉 074 家族介護支援事業 福祉 	<p>病気がなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 101 訪問指導事業 福祉 102 後期高齢者等健康診査事業 福祉 103 後期高齢者医療広域連合納付金 福祉 104 成年後見制度利用支援事業 福祉 	<p>親族が亡くなったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 120 葬祭費 福祉 121 第1号被保険者保険料還付金 福祉 	<p>100歳になったら</p> <ul style="list-style-type: none"> 122 老人福祉費 福祉

ブレイクタイム 喪失体験

人生において大切にしたい5つのこと(「健康」「家族」「仕事」「学び」「仲間づくり」)を、じゃんけんをして負ければ1枚ずつ破る(=喪失)ゲームをしました。自分の人生において、何を大切にしたいかを再認識しました。生きていけば失うこともたくさんありますが、役場の数ある事業を把握し、うまく使いこなすことで、健康に過ごせたり、働きやすい環境をつくれたり、多くの仲間ができたりするかもしれません。そんな機会をたくさんうみだせるプロジェクトにしたいですね。



ワークショップ

ワーク1 自分のライフプランを考えよう



ワークは9チームに分かれて行いました。一つ目のワークでは、人生において経験する学校への入学や卒業・引っ越し・結婚・就職・介護など様々なライフイベントについていつ、どんなことが起こるのか、現在の年齢までに起こった出来事とこれから人生を終えるまでに起こるであろうと予測されるライフイベントをシートに記入しました。その後、各チーム内でそれぞれのライフプランを共有しました。十人十色の人生について語り合い、共感や驚きが生まれる場となりました。

ワーク2 智頭町の事業を自分ごとにしてみよう



智頭町が実施している事業を町民のライフステージに合わせて整理した表とワーク1で作った個人のライフプランを照らし合わせ、職員に事業の詳しい内容を聞きながら智頭町の取り組みについての理解を深めました。自分の人生で「あったらいいな」と思う事業や知らなかったが実は役に立ちそうな事業といった観点から考えることで、智頭町の事業をより身近に感じてもらうことができました。以下には各チームの話し合いの概要をまとめました。

話し合いの内容

まとめ



- 仲間や地域と一緒に健康のための活動がしたい
- 介護予防のために習慣化された健康づくりが大切
- 産前産後のサポートと森のミニデイの取り組みは充実
- 移住者同士のネットワークを築きたい
- 定住のためのサポートを強化すべき
- 相談を受け付ける窓口をわかりやすく
- 町内、国外での学びの機会を支援して欲しい
- 小・中学校で農林業やものづくりの体験を導入したい
- 職業訓練の場を設け、後継者を育てるべき
- 起業支援の対象年齢を幅広くして欲しい
- 商店街の空き店舗活用の必要性
- 人材と場所のマッチング
- 情報が行き渡りやすい環境が必要
- 仲間がいれば課題 / 夢が解決 / 実現する可能性が広がるので、年代を問わず交流の機会を増やしたい

1 誰でも得られるチャンスと情報

仕事に関する話が中心となりました。誰でも何度でも起業できる機会があれば、活動人口も増えるでしょう。事業を分野ごとの縦割りではなく複合化・集約化を進めることで支援体制を強化してほしいです。また、仲間や情報が集まる場所・Webサイトが必要です。「誰でも」という点では、現在長男以外が町に残りにくいので、より町にとどまりやすいしくみづくりをしたいと思います。

2 定住への手厚いサポート

サポートがしっかりしている移住施策に対して、定住についてはまだまだであるという声があがりました。人が減る中で代々行われてきた伝統が引き継げるか不安だという人もいます。そこで、何かをやりたい人とそれを可能にする場をつなげることで能力のシェアと雇用の創出が期待できます。また、能力のある若者を確保するために海外や県外など外の世界を見るチャンスを応援することも必要です。

3 子どもたちに伝える「山の楽しさ」

智頭小・中学校で智頭の山の楽しみ方を知る機会があれば良いのではないのでしょうか。例として、ハンモック体験や課外授業の一環というアイデアが出ました。一方、子どもたちが山の魅力を理解していても智頭で働く場所が少ないために町から出て行ってしまおうという課題があります。戻って来やすいように就職支援の充実が必要です。また、たくさんある事業を町民が認識できる環境があっても良いと思います。

4 智頭町みんな友達

何をするにも仲間づくりが第一です。仲間がいれば困りごとや夢を共有でき、さらにそれを解決・実現する方法と一緒に考えることができます。その中でどうしても自分たちでは解決できないことがあれば行政に頼っても良いと思います。世代を超えた仲間づくりも大切で、地域の先人たちと交流することで地元のことをもっとよく知り、知恵や歴史文化を学びたいです。

5 若者の交流と全世代への仕事支援

町民同士のコミュニケーションをとる機会が必要だと感じています。特に、20代・30代はその機会を増やすべきです。交流の場としては飲み会が参加しやすいですが、夜の時間帯の交通手段がないことが課題です。交流の機会が増えれば地域ぐるみでの健康づくりの活動もできます。また、仕事支援に関して若者向けのものが多く見られますが、30-40代以上の年代もチャレンジしやすい支援が欲しいです。

6 女性目線でのまちづくり

安心できる出産・子育てのために女性のサポートセンターがあると心強いです。相談先がわかりにくいので窓口を一本化して欲しいです。また、商店街の空き店舗利用のためにも農林業以外の起業支援体制を整え、特に女性が喜ぶ美味しいお店やカフェを作れば地域全体が生き生きするでしょう。女性に限ったことではありませんが、杉を使ったものづくりを教育の一環にした方が良いという意見もありました。

7 「やりたい」をつなげるしくみづくり

智頭町は林業に力を入れている印象が強いですが、農畜産の後継者育成にも努めてほしいです。学びの機会を設けると同時に起業支援も必要です。農畜産業をやりたい人とそれを実現できる場所のマッチング、例えば農地の貸出制度があると良いでしょう。また、スポーツを地域でやりたいという若者は多いので、それを可能にする場所・お金・広域でのネットワークを確保し、仲間づくりの場として実現させたいです。

8 行政に頼りすぎないまちづくり

智頭町では特に子育てに関する支援が充実していますが、それに頼るばかりではよくないという意見が出ました。どの分野についても同じことが言えます。自分たちで集まって体を動かしたり、コミュニティスペースとしての活用のために町の施設を使えるようになればいいなと思います。農林業を支えるために食肉加工体験などを教育に盛り込んで後継者を育てていくのも大切ではないでしょうか。

9 働き盛りから老後まで充実した人生

智頭には起業した人など活躍している人が多いので、職業訓練の場がもっとあっても良いと思います。また、企業に関連する法律関係のコンサルタントもあれば良いという意見が出ました。仕事を引退した老後は仲間と一緒に趣味を楽しみながら暮らしたいので、「森のようちえん」ならぬ「森のプラチナホーム」の設立やシニア世代の活動団体への支援を期待します。

